

平成28年度 第3回伊勢崎市総合教育会議

次 第

日 時 平成29年2月14日（火）
午前10時～
場 所 市役所本館5階職員研修室

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育委員長あいさつ
- 4 署名委員の指名
- 5 報告事項
（1）文化財の現状と課題について **【資料1～3】**
- 6 協議事項
（1）文化財の保存と活用のあり方について
- 7 その他
- 8 閉 会

伊勢崎市教育振興施策の大綱

教育の基本理念

夢あるところに笑顔の輪 のびのび伸ばそう個性の翼

基本方針

【学校教育分野】

1 夢に向かって学び自ら未来を切り拓く たくましく心豊かな子どもを育てるまち

【生涯学習分野】

2 生涯にわたり生きがいを求めて主体的に学び より豊かに生き生きと暮らせるまち

【歴史・文化分野】

3 郷土の歴史や文化を学び次代に伝承する ふるさとへの愛着と誇りに満ちた人のまち

1. 主な指定文化財一覧表

時代	世紀	主な文化財	指定年月日	委員会
古墳時代	600	国史跡上野国佐位郡正倉跡	平成26年10月6日	史跡上野国佐位郡正倉跡等調査整備委員会
	7			
	700			
古代	8	国史跡十三宝塚遺跡	昭和63年1月11日	
	800			
~~~~~				
古代	1000	国史跡女堀	昭和58年10月27日	史跡女堀調査整備委員会
	11			
	1100			
中世	12			
	1200			
	13			
近世	1300			
	1700	国史跡田島弥平旧宅	平成24年9月19日	史跡田島弥平旧宅調査整備委員会
	18			
1800				
近代	19	市重要文化財旧森村家住宅	平成15年10月31日	
	1900			
現代	20	市重要文化財黒羽根内科医院旧館(いせさき明治館)	平成14年9月30日	
	2000			
現代	21			

2. その他の文化財
- ・上記指定文化財を除く(国・県・市)指定文化財138件
  - ・田島弥平旧宅周辺の養蚕農家群
  - ・三光町の街並み保存について

保護保存・整備活用が必要な主な文化財

- 1 国指定史跡 上野国佐位郡正倉跡
- 2 国指定史跡 十三宝塚遺跡
- 3 国指定史跡 女堀
- 4 国指定史跡 田島弥平旧宅
- 5 市指定重要文化財 旧森村家住宅
- 6 市指定重要文化財 黒羽根内科医院旧館（いせさき明治館）

# 1 国指定史跡 上野国佐位郡正倉跡

## ◎概要

上野国佐位郡正倉跡は今から 1,300 年程前に造られた役所跡の一部で、税として集めた米を保管する倉庫群です。倉庫の中には全国で初めて八角形倉庫がみつき、この建物が文献資料の記載と一致したことから佐位郡の役所であることが明らかとなり、平成 26 年 10 月 6 日に国史跡に指定されました。

指定面積は約 89,000 m²で、公有地約 44%、民有地約 56%です。



八角形 正倉跡全景



八面甲倉イメージ図

## 2 国指定史跡 十三宝塚遺跡

### ◎概要

十三宝塚遺跡は、伊勢崎佐波第一工業団地造成に伴う、発掘調査によって奈良時代から平安時代初めの寺院跡や灌漑用水路跡やそれらを支えたムラが発見され、古代の伊勢崎地域を解明するかけがえのない遺跡であることから昭和63年1月11日に国史跡に指定されました。

指定面積は約28,800㎡で、公有地約59%、民有地約41%です。現在は、緑地帯として現状保存されており、寺院跡の建物位置を表示しています。また、公有地部分には説明板を設置しています。



国指定史跡 十三宝塚遺跡



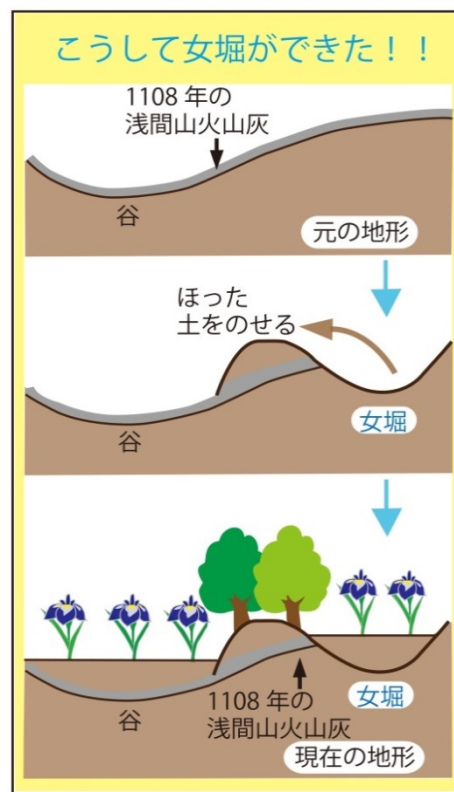
十三宝塚遺跡 現地説明板

### 3 国指定史跡 女堀

#### ◎概要

女堀は前橋市上泉町（桃木川）から伊勢崎市田部井町（JR 国定駅付近）までの 13 キロに及ぶ 12 世紀中頃に開削された農業用水路です。

発掘調査が実施されるまで、極めて長大な遺構にもかかわらず文献に全く記録がないことから謎の遺構とされていました。昭和 50 年代の群馬県の圃場整備事業に伴う発掘調査の成果により、「平安末期から南北朝期までに開削されたものと考えられ、当時としては極めて大規模であり、当時の人々が大量の労働力を投入して水田開発を推進しようとしたことを物語る巨大な記念物である」として、昭和 58 年 10 月 27 日に前橋市の 5 か所と共に赤堀地区が国指定史跡となりました。平成 9 年と平成 28 年に追加指定があり現在の史跡面積は 32,092.13 m²です。



国指定史跡 女堀

## 4 国指定史跡 田島弥平旧宅

### ◎概要

田島弥平旧宅は、蚕の飼育法「清涼育」を大成した田島弥平の旧宅であります。史跡の敷地面積は約4,000㎡あり、文久3年(1863)に建てられた住居兼蚕室の主屋をはじめ、桑場、種蔵、井戸、建物跡の基壇などが残ります。主屋は、換気のための櫓をつけた瓦葺総2階建て近代養蚕農家の原点となった建物で、養蚕農家の発展を知る上で重要な史跡であります。

平成24年9月19日に国指定史跡となり、平成26年6月25日には「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産として世界文化遺産に登録されました。

田島弥平旧宅は、東、北、南の三方を道路に囲まれ、南西方向に宅地と接しています。史跡は私有地で、現在土地所有者が住まわれており、公有地化はされていません。



国指定史跡 田島弥平旧宅 主屋



## 5 市指定重要文化財 旧森村家住宅

### ◎概要

旧森村家住宅は連取町 377 に位置し、約 3,000 m²の敷地に、表門、土蔵 2 棟、主屋、長屋、表門、裏門、馬屋を残しています。主屋の創建は明らかではないが江戸時代後期に遡るとされています。明治 9 年（1876）には再建され、柱や梁に古材を再利用し、それらに加えて旧伊勢崎藩陣屋の部材を大量に採用した建築です。

森村家は旗本駒井氏の地方代官を務めた旧家です。二階建瓦葺入母屋造りの豪壮な主屋は養蚕をするため、二階に広い空間をとった職住一体の建物です。

平成 12 年 3 月に森村家から伊勢崎市に寄贈され、平成 15 年 10 月 31 日に伊勢崎市重要文化財に指定されました。



市指定重要文化財  
旧森村家住宅 全景



十五夜の集い 風景



## 6 市重要文化財 黒羽根内科医院旧館（いせさき明治館）

### ◎概要

黒羽根内科医院旧館は、藩医であった今村家が明治45年（1912）に建てた、現存する県内最古の2階建て洋風医院建築で、和洋折衷の造りが特徴的です。昭和22年頃に黒羽根内科医院となり、平成14年に市に寄贈されました。同年9月30日に伊勢崎市重要文化財に指定され、同年11月に現在地に曳き家移転されました。平成17年度の愛称の公募により「いせさき明治館」と呼ばれ、現在は文化観光課が管理を行っています。



市指定重要文化財 黒羽根内科医院旧館 全景



1階診察室

## 文化財の課題について

### 1. 基本的な考え方

- ① 文化財の保護・保存を将来に向けて継承していくためには、整備基本計画を策定し、順次各史跡の整備を行っていく必要があります。
- ② 費用対効果を視野に入れながら、市民に理解していただけるような整備活用を検討する必要があります。
- ③ 文化財を保護保存し文化財としての活用を行うだけでなく、同時に、伊勢崎市としてのまちづくりや観光面での活用も大切であります。

### 2. 保存・活用

- ① それぞれの文化財に優先順位をつけ、整備活用していく必要があります。具体的には、国指定史跡の「上野国佐位郡正倉跡」「十三宝塚遺跡」「女堀」「田島弥平旧宅」を重点的に保存する必要があります。
- ② その他にも指定文化財や無指定の文化財で今後の調査・研究によって保存が必要となるものもあります。

### 3. 関連部局・各種委員会との連携

- ① 文化庁・県との協議により、文化財ごとに専門委員会を設置し、調査・研究・活用を行う必要があります。
- ② 各史跡ごとの専門委員会では、保護・整備に向けた計画の作成・研究を行う必要があります。
- ③ まちづくりや史跡の活用について、市長部局等との広範な連携を図ることが大切であります。

### 4. 人材について

○専門知識を有する文化財保護課職員の現状は、職員13名中5名であり、すべて考古学専攻の職員であります。

- ① 学芸員、古建築学、歴史学（近世・近代）、古文書などの専門的知識を有した人材が必要です。
- ② 専門的知識を習得するために計画的な研修の参加が必要です。
- ③ 企画力の優れた人材が必要です。（継続した特別展の開催及び展示の工夫）